

提供日 2026/06/03
タイトル クマ出没への対策と注意喚起
担当 暮らし・環境部 環境局自然保護課
連絡先 自然保護・管理班
TEL 054-221-2719



クマ出没への対策と注意喚起

クマが冬眠から目覚め、昨秋に続いて全国的に出没が相次ぎ、静岡県においても、裾野市や浜松市浜名区引佐町などにおいて複数の出没が確認され、4～5月の目撃情報は例年より多い状況です（R8/39件 R7/11件 R6/13件 R5/12件）。通年の目撃件数は年々増加（R7/200件 R6/156件 R5/121件）しており、生息域の拡大も懸念されることから、県では、次のようなツキノワグマ対策に取り組んでいます。

1 クマの出没対応に当たる市町への支援

クマが出没した際は、各市町が対応の主体になります。県は、市町が実際に対応に当たる時に、必要に応じて助言や補助を行っています。今回の裾野市須山における出没事案では、対策会議に出席して助言を行い、クマの捕獲わなや、出没・行動を撮影するセンサーカメラを貸し出し、設置のお手伝いもしています。浜松市浜名区引佐町の事案では、県の捕獲許可により出没個体の駆除が行われました。

また、市街地に出没した際の「緊急銃猟」制度が昨年9月に施行されてから、静岡県では実施に至ったことはありませんが、実施に備えて、市町に対して、従事された方への日当補助を行うこととしています。



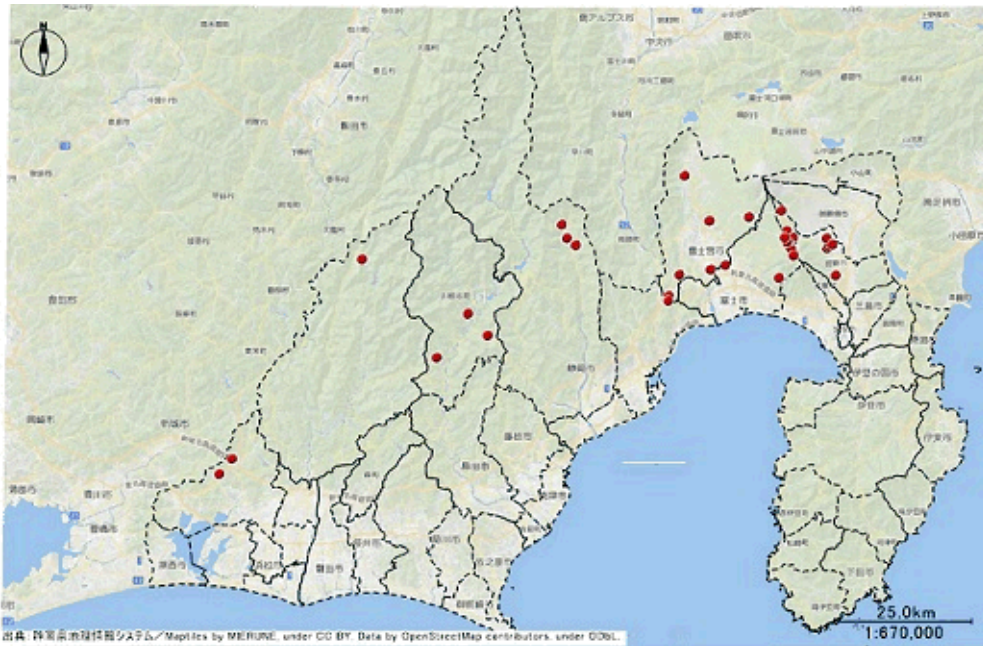
裾野市須山に設置したクマの捕獲わな

2 県内のクマ目撃情報の公開

県ホームページにおいて、市町に寄せられた情報を基に、目撃情報をマップ上に掲載し公開しています。場所や日時もひと目で分かります。

<県ホームページ> 静岡県のツキノワグマ・クマの目撃情報

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1017680.html>



3 クマを知る出前講座

子どもたちが、クマの生態や行動、出会わないための工夫を知る出前講座を実施しています。県職員が学校などを訪問しますので、子どもたちの安全を守る教育の一環として活用してください。開催は、県自然保護課にご相談・お申し込みください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/wild/1081624.html>

開催日・場所、取材対応の可否などは、お問い合わせください。

4 クマの出没対応に当たる方々を対象にした研修会

静岡県では、これまでクマの目撃・出没が多くはなく、対応に当たる方々の経験が少なかった(なかった)状況にあります。そのため、出没時に対応の主体となる市町職員、捕獲やパトロールをお願いすることになるハンターの方々を対象に、クマの生態や捕獲に関する知識・技術の習得、市街地に出没した際の「緊急銃猟」の体制づくりに向けた研修会を開催しています。

今後、研修会等を開催する際は、改めてお知らせします。

5 クマの生息実態調査

令和6年度に、センサーカメラを活用して生息頭数を把握する調査を実施し、県内全域で543頭(中央値、推計値386~738頭)と推計しました。

- ・富士川以西の南アルプス地域個体群441頭(中央値、推計値301~611頭)
- ・富士山周辺の富土地域個体群102頭(中央値、推計値68~146頭)

初めての調査なので、生息頭数が多いのか・少ないのか、増えているのかは、まだ判断できませんが、静岡県の令和7年度の目撃件数200件に対し、13,592件の秋田県、9,739件の岩手県では、それぞれ約4,400頭、3,700頭と推計されていて、若干古い令和2年の調査結果になるため、実際はもっと多いのではないかとされています。

県では、生息実態調査の結果や出没状況などを踏まえ、鳥獣保護管理法に基づく特定鳥獣管理計画を今年度中に策定する予定であり、今後も継続的なモニタリングにより、科学的根拠に基づいた管理を行っていきます。

6 クマのエサとなるドングリの豊凶調査

昨年秋のクマの大量出没は、エサとなる堅果類(ブナやナラなどの木の実、いわゆるドングリ)が凶作で少なかったことが一因と考えられています。そこで、秋の出没予測に活用するため、県内各地の生息域で堅果類の結実状況の豊凶調査を実施します。

静岡県に生息するツキノワグマは、春から7月頃まで、親離れして生息場所を探す「分散期」、パートナーを求める「繁殖期」を迎え、活動が活発になります。山あいにお住まいの方や山にお出かけになる方は、出没情報に注意していただき、クマに出会わない、万一出会ってしまったら身を守る対策の準備をお願いします。

<クマに出会わない・寄せ付けない対策>

- ・ 山に入る時は、鈴やラジオを鳴らす、複数人で話すなど、自分の存在を知らせる。
- ・ クマの活動が活発になる早朝や夕方、暗がりの行動は避ける。
- ・ 生ゴミや果樹はしっかり管理して、クマを寄せ付けない。
- ・ クマが隠れられる高さの藪(やぶ)や雑草などを刈り払う。

<クマに出会ってしまった時の対策>

- ・ 刺激しないように落ち着いて、背を向けずに静かに後ずさりする。(背を向けて走って逃げると追いかけてくる習性があり、とても速いので逃げ切るのは難しい)
- ・ 襲われそうになったら、うつ伏せになって頭と首を守る。
- ・ クマ撃退スプレーも有効なので、山に入る時は携行し、射程距離で噴射する。

○ クマを目撃した場合は、市町または県農林事務所へのご連絡をお願いします。

